

私の故郷（ふるさと）高野山

高野町立高野山中学校 三年 前 優那

私が生まれた翌年二〇〇四年に高野山は「紀伊山地の霊場と参詣道」という名称で世界遺産に登録されました。世界遺産に登録されたこともあってか、外国人・観光客も増え、「外国人に人気の観光スポットランキング二〇一七」では高野山奥之院がトップ一〇に入るなど、世界からも良い評価を受けていて、高野山がとても魅力的な町だということが分かります。今回、私の思う高野山の良い所、魅力的なことをいくつか紹介しようと思います。

まず一つ目は、四季折々の風情を味わえるところです。春の山桜、夏の青葉、秋の紅葉そして冬の樹氷。このような自然が織り成す季節の移り変わりを金剛峯寺や奥之院、根本大塔や大門など高野山にある数々の名所と共に感じることはとても魅力的な事だと思います。

二つ目はたくさんの行事が行われていることです。一月のどんと焼き、三月の火まつり、六月の青葉まつり、八月のろうそくまつり、その他、一年を通して様々な行事がとり行われます。中でも六月十五日に行われる青葉まつりは、町をあげて行う、最も大事とされている行事の一つです。前日十四日夕刻よりの前夜祭では、高野町商工会青年部や高野山高校の生徒が中心となって作成した色鮮やかな「ねぶた」に照明が灯され、高野山内を巡行します。それは見事なものです。そして十五日当日は、花御堂渡御というパレードを中心に、弘法大師空海の誕生を祝うお祭りが盛大に繰り広げられ、観光客・参拝者も多く来られます。

しかし、人が集まり盛り上がる反面、問題点もあります。それはゴミの問題です。お祭りなどがあった翌日、設置されたゴミ箱にはゴミがあふれ、町のあちこちにゴミが捨てられているのを見かけます。私はその光景を見る度にとっても残念で悲しい気持ちになります。

そこでこのゴミ問題を改善するにはどうすればいいのかを考えました。私は、ゴミ箱をなくし、ゴミ箱を設置していた場所に「自分のゴミは自分で持って帰りましょう。」というポスターを貼るとよいと思います。最近、コンビニエンスストアや、スーパーマーケットなどでも、ゴミ箱を外に置いていない所も多くなってきているように思います。また、私達住民もゴミのポイ捨てはしない、ゴミを見つけたら拾うなどを心がけるとよいと思います。

もう一つ、私が今、高野山に住んでいて不安に思うことがあります。それは、高野町の人口減少問題です。私は毎月発行されている町の広報誌を時々読みます。その中に高野町の人口推移が掲載されていて、毎月数人ずつ減少していることが分かります。このままでは高野町がなくなってしまうのではないかと、とても不安に思うのです。そこで、どうすればよいかを考えましたが、よい考えが浮かばず、家族に相談してみました。「教育・医療・福祉を充実させるとよいのでは？」など色々と教えてくれましたが、私にはまだ難しくよく理解できませんでした。私が今できることは一生懸命勉強をして、色々な経験をする事だとも教えてくれました。

私は千二百年以上続く伝統のある町高野山でこれからもずっと安心して生活が出来るように、また観光客・参拝客の方々からも「いいところだなあ。」と思ってもらえる町であって欲しいと思っています。そのためにも私の出来る事は何かを考え、問題点を少しでも改善し、いつか良い町づくりに貢献できるようになりたいです。

最後に、私は私の故郷（ふるさと）高野山が本当に大好きです。